

## V26a Characterization of triggered burst signals for TAMA data

端山和大 (Center for Gravitational Wave Astronomy)、藤本眞克 (国立天文台)

干渉計型重力波検出用望遠鏡 TAMA300 を用いた重力波の探査が行われている。探査は主にアウトプットされる時系列データから信号を探す、その際非定常雑音を検出の大きな障害となる。とくにターゲットの一つである超新星爆発からの重力波は数 msec ほどの短いスパイク的な信号で、かつ十分な予想波形ないために、検出器から頻繁に出現するバースト的な雑音との区別が非常に困難となる。

我々は、検出器起源のバースト的な雑音について、波形や統計量をもちいてその特徴を明らかにし、データ解析の側面から雑音の解明に挑む。本講演ではその概要と現状を報告する。